AOKI Holdings







株式会社AOKIホールディングス

第39回 定時株主総会
招 集 ご 通 知

開催日時 平成27年6月26日(金曜日)
午前10時(受付：午前9時)

開催場所 ホテルニューオータニ
ザ・メインアーケード階
おり鶴 麗の間

議案
第1号議案　取締役15名選任の件
第2号議案　監査役　3名選任の件
第3号議案　退任取締役に対し
退職慰労金贈呈の件

証券コード：8214

CONTENTS

株主総会招集ご通知

第39回定時株主総会招集ご通知 1
議決権行使方法についてのご案内 2
議決権行使のお手続きについて 3

株主総会参考書類

第1号議案 取締役15名選任の件 5
第2号議案 監査役3名選任の件 11
第3号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件 12

（添付書類）

事業報告

1 企業集団の現況 13
2 株式の状況 24
3 会社役員の状況 25
4 会計監査人の状況 28
5 業務の適正を確保するための体制 29
6 剰余金の配当等の決定に関する方針 31

連結計算書類

連結貸借対照表 32
連結損益計算書 33
連結株主資本等変動計算書 34

計算書類

貸借対照表 35
損益計算書 36
株主資本等変動計算書 37

監査報告書

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告 38
会計監査人の監査報告 39
監査役会の監査報告 40

株主通信

トップメッセージ 44
業績概要 45
トピックス 46

証券コード8214
平成27年６月５日

株 主 の 皆 様 へ

横浜市都筑区茅ケ崎中央24番１号
株式会社ＡＯＫＩホールディングス
代表取締役社長　青 木 彰 宏

第39回定時株主総会招集ご通知

拝啓　平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。
　さて、当社第39回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。
　なお、当日ご出席願えない場合は、書面又は電磁的方法（インターネット）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、平成27年６月25日（木曜日）午後５時までに議決権を行使くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

1 日　　時　**平成27年6月26日（金曜日）　午前10時**

2 場　　所　東京都千代田区紀尾井町４番１号
ホテルニューオータニ　ザ・メインアーケード階　おり鶴 麗の間

3 目的事項

報告事項
1.第39期（平成26年４月１日から平成27年３月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2.第39期（平成26年４月１日から平成27年３月31日まで）計算書類報告の件

決議事項
第１号議案　取締役15名選任の件
第２号議案　監査役３名選任の件
第３号議案　退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

以 上

※ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。
※ 株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に記載すべき事項を修正する必要が生じた場合は、修正後の事項を当社ホームページ(http://www.aoki-hd.co.jp/)に掲載いたしますのでご了承ください。
※ 第39回定時株主総会招集ご通知添付書類のうち、「連結注記表」及び「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト(http://www.aoki-hd.co.jp/)に掲載しておりますので、本定時株主総会招集ご通知添付書類には記載しておりません。
したがって、本定時株主総会招集ご通知添付書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をした連結計算書類又は計算書類の一部です。

議決権行使方法についてのご案内

議決権は、株主の皆さまが当社の経営にご参加いただくための大切な権利です。

当日ご出席の場合

当日株主総会にご出席の際は、議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。



当日ご出席願えない場合

当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法により議決権を行使することができます。



郵送による議決権の行使

議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、お早めにご返送ください。



インターネットによる議決権の行使

http://www.evote.jp/

インターネットにより上記専用サイトにアクセスしてください。
ログインID・仮パスワードをご利用になり、画面の案内に従って、議決権を行使してください。

議決権の行使方法には、**3つの方法**がございます。

議決権行使のお手続きについて



郵送による議決権の行使の場合

同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、下記行使期限までに到着するようご返送ください。
行使期限：**平成27年6月25日（木曜日）午後5時までに到着**



インターネットによる議決権行使の場合

インターネットによる議決権行使は、**パソコン、スマートフォン又は携帯電話**（iモード、EZweb、Yahoo!ケータイ）※1から、当社の指定する議決権行使サイト（http://www.evote.jp/）にアクセスしていただくことによってのみ実施可能です。（ただし、毎日午前2時から午前5時までは取扱いを休止します。）
インターネットによる議決権行使は、**平成27年6月25日（木曜日）の午後5時まで受付**いたしますが、お早めに行使いただき、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

お手元に
議決権行使書用紙を
ご用意ください

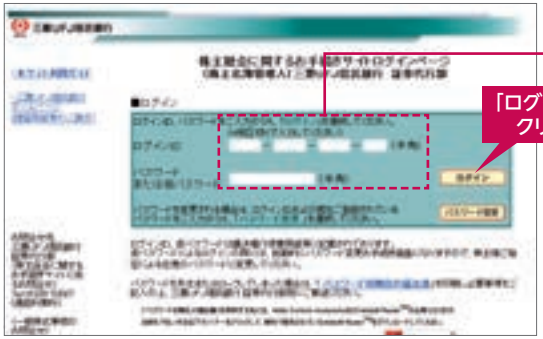


❶ 議決権行使サイトにアクセスする



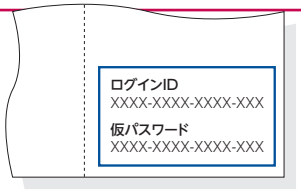
http://www.evote.jp/

❷ ログインする

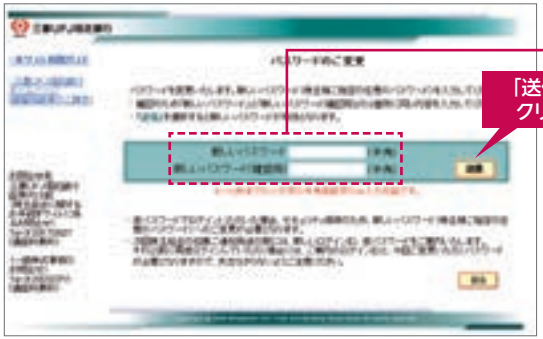


「ログイン」をクリック

お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された**「ログインID」**及び**「仮パスワード」**を入力



❸ パスワードを登録する



「送信」をクリック

「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認用)」の両方に入力

以降は画面の案内に沿って賛否をご入力ください。

※1 「iモード」は(株)NTTドコモ、「EZweb」はKDDI(株)、「Yahoo!」は米国Yahoo!Inc.、「Yahoo!ケータイ」はソフトバンクモバイル(株)の商標、登録商標又はサービス名です。

※2 パソコンによる議決権行使は、インターネット接続にファイヤーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。

※3 携帯電話による議決権行使は、iモード、EZweb、Yahoo!ケータイのいずれかのサービスをご利用ください。又、セキュリティ確保のため、暗号化(SSL通信)及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。

※4 議決権行使サイトへのアクセスに際しての費用(インターネット接続料金・電話料金等)は、株主様のご負担となります。又、携帯電話をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

システム等に関するお問い合わせ(ヘルプデスク)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-173-027(通話料無料) 受付時間 午前9時から午後9時まで

第１号議案　取締役15名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって取締役全員（14名）が任期満了となります。つきましては、経営監督機能の強化を図るため社外取締役１名を増員し、取締役15名の選任をお願いしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりです。

1　青木拡憲（あおき ひろのり）（昭和13年９月23日生）　再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和51年８月	当社設立　代表取締役社長	（重要な兼職の状況）
平成19年１月	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長
平成22年６月	代表取締役会長（現任） ㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数　2,560,666株

2　青木寶久（あおき たかひさ）（昭和21年１月10日生）　再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和51年８月	当社設立　常務取締役	（重要な兼職の状況）
昭和56年６月	取締役副社長	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長
平成16年６月	アニヴェルセル㈱取締役会長（現任）	アニヴェルセル㈱取締役会長
平成19年１月	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長	
平成22年６月	代表取締役副会長（現任） ㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長（現任）	

■ 所有する当社の株式数　2,560,488株

3 青木彰宏（あおき あきひろ）（昭和45年５月20日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

平成６年４月　当社入社
平成15年５月　オリヒカ事業創業
平成17年６月　執行役員
平成20年４月　㈱オリヒカ代表取締役社長
平成21年６月　常務取締役
平成22年４月　㈱AOKI取締役副会長
平成22年６月　代表取締役社長（現任）
㈱アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長（現任）
平成26年１月　㈱AOKI代表取締役会長（現任）

（重要な兼職の状況）
㈱アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長
㈱AOKI代表取締役会長

■ 所有する当社の株式数　2,560,000株

4 長谷川八郎（はせがわ はちろう）（昭和18年４月27日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和51年８月　当社入社　商品部長
昭和55年７月　取締役
昭和57年11月　常務取締役
平成８年６月　専務取締役
平成14年４月　店舗開発本部長兼キッズ事業部長
平成16年３月　グループ店舗開発担当（現任）
平成22年６月　取締役副社長（現任）

■ 所有する当社の株式数　271,800株

5 中林佑烝（なかばやし ゆうすけ）（昭和21年２月25日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和63年９月　当社入社　商品Ⅱ部長
平成８年６月　常務取締役
平成15年５月　グループ商品・物流・経営企画・店舗開発担当
平成15年６月　専務取締役
平成18年４月　グループ経営戦略企画担当
平成21年１月　㈱ヴァリック代表取締役社長（現任）
平成22年６月　取締役副社長（現任）

（重要な兼職の状況）
㈱ヴァリック代表取締役社長

■ 所有する当社の株式数　78,132株

6 田村 春生（たむら はるお） (昭和32年２月21日生) 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和55年４月	㈱横浜銀行入行
平成11年７月	同行横浜シティ支店長
平成15年４月	アニヴェルセル㈱入社　取締役管理本部長
平成16年10月	同社専務取締役
平成18年６月	当社入社　執行役員 グループ財務担当
平成19年６月	取締役
平成20年４月	常務取締役
平成22年４月	グループ管理・財務担当（現任）
平成22年６月	取締役副社長（現任）

■ 所有する当社の株式数　　52,000株

7 島屋 紀明（しまや のりあき） (昭和21年７月22日生) 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

平成10年６月	当社取締役
平成11年６月	当社入社 管理本部副本部長
平成13年４月	経営企画室長
平成14年９月	アニヴェルセル㈱代表取締役副社長
平成19年５月	当社入社 経営戦略企画室部長
平成21年６月	常勤監査役
平成22年６月	常務取締役（現任） グループ人事担当
平成22年７月	グループ戦略担当（現任）

■ 所有する当社の株式数　　34,000株

8 栗田 宏（くりた ひろし） (昭和28年12月７日生) 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和52年４月	当社入社
平成16年４月	快活事業部長
平成17年６月	㈱ヴァリック取締役
平成17年10月	同社代表取締役会長
平成19年６月	同社代表取締役社長
平成22年７月	常務執行役員 グループ人事担当（現任）
平成23年６月	常務取締役（現任）

■ 所有する当社の株式数　　93,000株

9 清水（しみず） 彰（あきら） （昭和30年３月10日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和52年４月 当社入社
昭和61年２月 店舗開発部長
平成２年６月 取締役
平成８年６月 常務取締役
平成14年３月 営業本部長
平成15年５月 メンズ事業部長
平成15年６月 専務取締役
平成18年４月 AOKIカンパニー　プレジデント
平成20年４月 取締役
㈱AOKI代表取締役社長（現任）
平成26年１月 常務取締役（現任）

（重要な兼職の状況）
㈱AOKI代表取締役社長

■ 所有する当社の株式数　91,360株

10 荒木（あらき） 渉（わたる） （昭和31年７月５日生） 新任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和54年３月 当社入社
平成17年６月 メンズ事業部計画管理室長
平成19年６月 執行役員
平成20年４月 ㈱AOKI常務取締役経営戦略企画担当
平成22年10月 同社専務取締役（現任）
営業部長
平成26年４月 同社人事本部長（現任）

■ 所有する当社の株式数　5,400株

11 野口（のぐち） 達巳（たつみ） （昭和37年３月18日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和60年４月 当社入社
平成５年８月 商品戦略企画室長
平成15年６月 執行役員
平成18年６月 グループ商品担当
平成19年６月 取締役
平成20年４月 常務取締役（現任）
平成22年４月 グループ海外戦略担当
平成22年10月 ㈱AOKI専務取締役（現任）
平成26年１月 グループ海外戦略・物流担当（現任）

（重要な兼職の状況）
㈱AOKI専務取締役

■ 所有する当社の株式数　16,000株

12 中村 宏明（なかむら ひろあき）（昭和38年９月13日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和62年４月　当社入社
平成10年11月　アニヴェルセル事業部長
平成13年８月　㈱ヴァリック経営企画室長
平成14年６月　同社取締役
平成15年４月　同社常務取締役営業統括部長
平成16年７月　同社専務取締役営業本部長
平成17年４月　同社代表取締役社長
平成21年10月　㈱AOKI取締役副社長
平成23年６月　常務取締役グループ業務改革担当
平成23年８月　取締役
アニヴェルセル㈱代表取締役社長
平成26年１月　常務取締役（現任）
平成27年４月　グループ戦略担当（現任）

■ 所有する当社の株式数　30,000株

13 青木 柾允（あおき まさみつ）（昭和44年４月21日生） 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

平成５年４月　当社入社
平成14年９月　アニヴェルセル㈱出向
平成16年６月　同社取締役副社長
平成20年４月　㈱アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長
平成22年３月　アニヴェルセル㈱取締役副会長（現任）
平成22年６月　常務取締役（現任）
㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長（現任）

（重要な兼職の状況）
㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長
アニヴェルセル㈱取締役副会長

■ 所有する当社の株式数　2,560,000株

14 稲垣 稔（いながき みのる）（昭和22年８月29日生） 社外 再任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和57年８月　公認会計士登録
昭和61年２月　当社監査役
昭和62年10月　常勤監査役
平成26年６月　取締役（現任）

■ 所有する当社の株式数　100,220株

15 尾原蓉子（おはらようこ）（昭和13年10月７日生）

社外 新任

■ 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

昭和37年４月	旭化成工業㈱（現 旭化成㈱）入社
平成３年６月	同社マーケティング部ＦＢ人材開発部長
平成６年６月	㈱旭リサーチセンター取締役
平成11年３月	(財)ファッション産業人材育成機構ＩＦＩビジネス・スクール学長
平成12年３月	エイボン・プロダクツ㈱取締役
平成20年５月	㈱良品計画取締役
平成21年４月	(財)ファッション産業人材育成機構ＩＦＩビジネス・スクール名誉学長
平成25年７月	(一社)ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション代表理事（現任）

（重要な兼職の状況）
(一社)ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション代表理事

■ 所有する当社の株式数　　－ 株

（注）1. 取締役候補者　青木拡憲、青木寶久及び青木柾允の３氏は、㈱アニヴェルセルHOLDINGSの代表取締役であり、同社は当社の議決権の38.5％を保有するその他の関係会社です。
2. 取締役候補者　中林佑烝氏は、㈱ヴァリックの代表取締役であり、同社は当社の完全子会社です。
3. 取締役候補者　青木彰宏及び清水彰の両氏は、㈱AOKIの代表取締役であり、同社は当社の完全子会社です。
4. その他候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
5. 取締役候補者　稲垣稔及び尾原蓉子の両氏は、社外取締役候補者です。
6. 社外取締役候補者に関する事項は次のとおりです。
(1) 社外取締役候補者の選任理由
① 稲垣稔氏は、公認会計士としての経験を重ね、豊富な専門知識と経営に関する高い識見を有しており、客観的視点で、独立性をもって経営の監視を遂行していただくには適任であること、これにより、取締役会の透明性の向上及び監督機能の強化にも繋がるものと判断し、社外取締役候補者といたしました。なお、同氏は、これまで直接会社経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断いたしました。
② 尾原蓉子氏は、ファッション・ビジネスの草分けとして50年の体験に基づく将来への洞察及びファッションのもの作りと流通の変革に関する提言活動を推進されています。これらのファッション業界に関する豊富な知識と経験、また会社経営での経験に基づき、当社の経営全般に有用な助言を行っていただけるものと判断し、社外取締役候補者といたしました。
③ 当社は稲垣稔及び尾原蓉子の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
(2) 社外取締役候補者が当社の社外取締役に就任してからの年数
稲垣稔氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって１年となります。

第２号議案　監査役３名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって監査役３名のうち牧倫匡氏は任期満了となり、栗林一夫氏は辞任されますので、監査体制の強化のため１名増員し、監査役３名の選任をお願いしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりです。

1　牧（まき）　倫匡（みちまさ）　(昭和24年10月23日生)　再任

■ 略歴、当社における地位（重要な兼職の状況）

昭和60年11月　当社入社　商品部長
平成12年10月　株式会社ヴァリック常務取締役
平成14年６月　同社代表取締役社長
平成17年４月　常務執行役員経営戦略企画室長
平成23年４月　経営戦略企画室担当部長
平成23年６月　常勤監査役（現任）

■ 所有する当社の株式数　46,000株

2　中村（なかむら）　憲侍（けんじ）　(昭和24年３月30日生)　新任

■ 略歴、当社における地位（重要な兼職の状況）

昭和51年８月　当社入社　営業部長
昭和55年６月　経理部長
昭和55年７月　取締役
昭和57年11月　常務取締役
昭和60年８月　管理本部長
平成８年６月　専務取締役
平成15年５月　グループ管理担当
平成22年４月　グループ経営戦略企画担当
平成22年６月　取締役副社長（現任）
平成22年７月　グループ経営企画担当（現任）

■ 所有する当社の株式数　534,200株

3 發知 敏雄（ほっち としお）（昭和25年９月23日生） 社外 新任

■ 略歴、当社における地位（重要な兼職の状況）

昭和49年４月	東京国税局入局
昭和57年９月	税理士法人プライスウォーターハウスクーパース入所
昭和58年２月	公認会計士登録
平成18年１月	公認会計士試験委員
平成22年８月	公認会計士協会学術賞審査委員
平成23年６月	税理士法人プライスウォーターハウスクーパース顧問
平成25年６月	公認会計士・税務士事務所開設（現任）

■ 所有する当社の株式数　　ー 株

（注）1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 監査役候補者　發知敏雄氏は、社外監査役候補者です。
3. 社外監査役候補者に関する事項は次のとおりです。
(1) 社外取締役候補者の選任理由
① 發知敏雄氏は、公認会計士・税理士として企業会計に精通し、その専門知識と経験を活かし社外監査役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、社外監査役候補者といたしました。
② 当社は發知敏雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

第３号議案　退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

本定時株主総会終結の時をもって取締役を退任されます中村憲侍氏に対し、在任中の功労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い相当額の範囲内において退職慰労金を贈呈いたしたく存じます。

なお、その具体的な金額、贈呈の時期、方法等は取締役会の決議にご一任いただきたく存じます。

退任取締役の略歴は、次のとおりです。

氏　　名	略　　歴
中 村 憲 侍	昭和55年７月　当社取締役 昭和57年11月　当社常務取締役 平成８年　６月　当社専務取締役 平成22年６月　当社取締役副社長　現在に至る

以　上

（平成26年４月１日から平成27年３月31日まで）

1 企業集団の現況

（1）事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種経済対策や金融政策等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率の引き上げに伴う影響が長期化していることに加え、円安などによる原材料価格や物価の上昇等により、個人消費に弱さが見られるなど先行きは不透明な状況が継続しております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業会社において、環境の変化に対応した諸施策の実施や更なる成長のための業態の進化に注力いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、

売上高
1,838億05百万円（前年同期比 2.4%増）

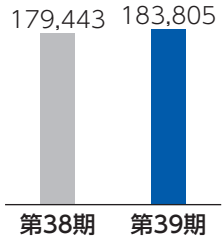
営業利益
190億28百万円（前年同期比 6.7%減）

経常利益
189億14百万円（前年同期比 9.4%減）

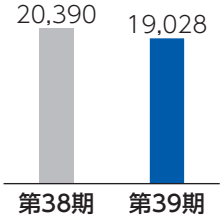
当期純利益
101億85百万円（前年同期比 4.7%減）

となりました。

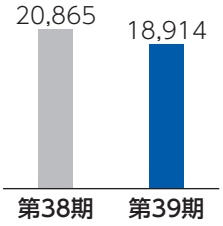
売上高（百万円）



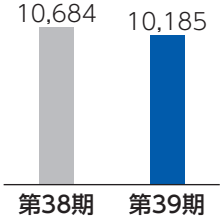
営業利益（百万円）



経常利益（百万円）



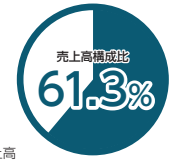
当期純利益（百万円）



各事業区分別の状況は以下のとおりです。



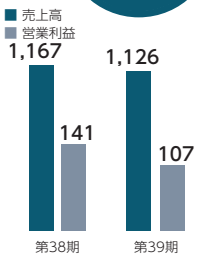
ファッション事業



売上高
1,126億75百万円
（前年同期比3.5%減）

営業利益
107億73百万円
（前年同期比23.9%減）

期末店舗数
698店舗
（前期末652店舗）



ＡＯＫＩでは、信州大学繊維学部との産学協同開発商品をはじめとする高付加価値商品や、年々拡大している女性のお客様に向けたレディスフォーマルの提案をテレビＣＭ等の媒体を活用することにより強化いたしました。また、就職活動時期の変更に伴う「就活新スタイル」をマイナビスチューデント様と共同で提案いたしました。営業面では、「あなたのスタイリストＡＯＫＩ」を訴求しスタイリスト制度を更に深耕すること等により営業力を強化いたしました。店舗面では、山形県への初出店を含め39店舗を新規出店する一方、移転等による３店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は557店舗（前期末521店舗）となりました。

ＯＲＩＨＩＣＡ（オリヒカ）は、メンズ、レディスともにビジネス及びビジカジスタイルの核商品を磨き上げ、上質感とバリエーションの豊富さを訴求いたしました。また、ＯＲＩＨＩＣＡならではのコラボ商品の企画やキャンペーンを実施し来店促進を図りました。店舗面では、ショッピングセンターを中心に11店舗を新規出店する一方、１店舗を閉鎖した結果、期末店舗数は141店舗（前期末131店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果やスーツの１品単価の上昇及びレディス商品は堅調に推移したものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や消費マインドの低下等により、売上高は1,126億75百万円（前年同期比3.5％減）、営業利益は107億73百万円（前年同期比23.9％減）となりました。



アニヴェルセル・ブライダル事業

売上高構成比 16.8%

売上高

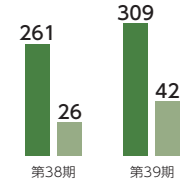
309億17百万円
（前年同期比18.3%増）

営業利益

42億5百万円
（前年同期比60.5%増）

期末店舗数

14店舗
（前期末14店舗）



ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、平成26年２月に観光地、行楽地として人気の高い横浜みなとみらい21地区に開業した「アニヴェルセル みなとみらい横浜」がお客様からご好評をいただき、施行組数も順調に推移いたしました。また、既存店の活性化として３施設のリニューアルによる来店促進及び成約率の向上と料飲の販売強化を図るとともに、施設ごとの特徴を活かした販促・ＰＲを実施いたしました。

これらの結果、「アニヴェルセル みなとみらい横浜」の寄与と平均組単価の上昇等により、売上高は309億17百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は42億５百万円（前年同期比60.5%増）と増収大幅増益になりました。





カラオケルーム運営事業



売上高

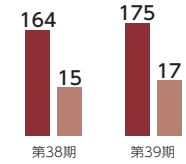
175億23百万円
（前年同期比6.5%増）

営業利益

17億12百万円
（前年同期比11.9%増）

期末店舗数

169店舗
（前期末159店舗）



株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、期間限定メニューの充実、法人企業や団体のニーズに合わせた忘新年会及び歓送迎会等各種パーティープランを提案するとともに、有名アーティストや人気キャラクターとのコラボレーションキャンペーンを実施し来店促進を図りました。店舗面では、駅前立地を中心に10店舗を新規出店した結果、期末店舗数は169店舗（前期末159店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果等により、売上高は175億23百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は17億12百万円（前年同期比11.9%増）と増収増益になりました。







複合カフェ運営事業



売上高

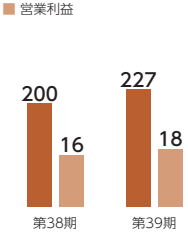
227億14百万円
（前年同期比13.0%増）

営業利益

18億6百万円
（前年同期比7.6%増）

期末店舗数

260店舗
（前期末228店舗）



株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、ラーメンフェアやトルコライスフェア等の期間限定メニューの強化と各種タイアップキャンペーンや様々なサービスの充実により来店促進を図りました。設備面では、アミューズメントコンテンツの拡充や女性専用エリアの拡大を目的として、16店舗のリニューアルを行い既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、九州の未出店県への出店や駅前立地への出店を含め32店舗を新規出店した結果、期末店舗数は260店舗（前期末228店舗）となりました。

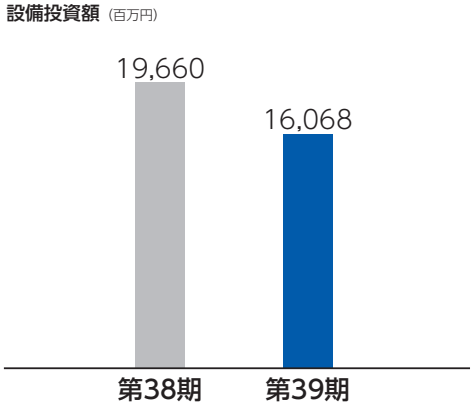
これらの結果、新規出店効果と既存店が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は227億14百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は18億６百万円（前年同期比7.6%増）と増収増益になりました。





(2) 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資は、総額160億68百万円となりました。その主たるものは、ファッション事業で50店舗（ＡＯＫＩ39店舗、ＯＲＩＨＩＣＡ11店舗）、カラオケルーム運営事業で10店舗及び複合カフェ運営事業で32店舗の新規出店並びに将来の事業展開に備えた土地の取得に係るものです。



(3) 資金調達の状況

当連結会計年度において、設備投資の資金として長期借入れを175億円実施いたしました。

(4) 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

(5) 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

(6) 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

(7) 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

(8) 対処すべき課題

事業環境が変化し競争が激化するなかで、顧客満足の創造と追求のために商品・サービスの企画、開発を始め販売促進や店舗環境作り、接客販売にいたるまでトータルでの差別化を推進してまいります。

ＡＯＫＩは、新規出店と市場の変化に対応したクールビズやレディス等の提案強化による新たな市場の拡大を図るとともに、機能性商品の提案や売場環境整備のためのリニューアルを積極的に行い既存店の活性化を推進し、事業基盤の強化に注力してまいります。

ＯＲＩＨＩＣＡは、ライフスタイルショップとして着回しのできる核商品開発の強化と店舗の改廃を含めた事業の効率化を行うとともに、ＯＲＩＨＩＣＡブランドの訴求と新規出店を継続してまいります。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、各施設の特徴を訴求するとともに、お客様のニーズや時代の変化に対応したリニューアルの実施、人財教育によるサービスレベルの向上により収益力の強化を推し進めてまいります。

カラオケルーム運営事業は、各種パーティープランの強化、コラボイベントなどの販促活動やリニューアルにより既存店の活性化を図るとともに、安定的に新規出店を継続してまいります。

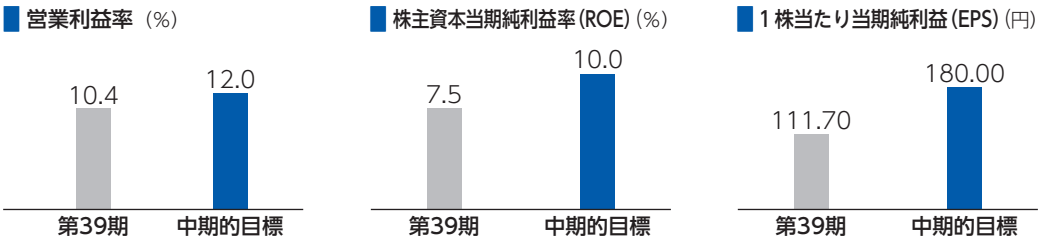
複合カフェ運営事業は、リニューアル等によるコンテンツの拡充や飲食メニューの強化により既存店の活性化を図るとともに、積極的な新規出店により市場の拡大を目指してまいります。

以上の諸施策を的確に実施し、業績の向上に全力を上げて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のあたたかいご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申しあげます。

経営指標の中期的目標

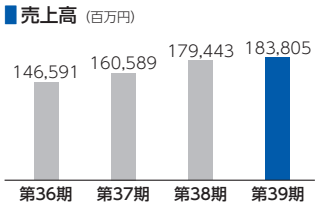
グループ全体で安定的成長路線を確保し、
中期的目標（平成26年５月発表）の経営指標達成を目指す

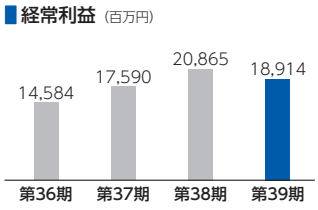


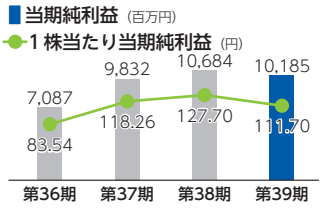
(9) 財産及び損益の状況

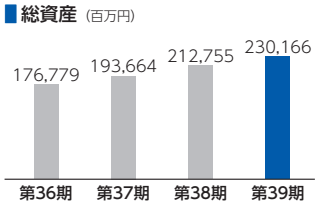
区分	第36期 平成24年３月期	第37期 平成25年３月期	第38期 平成26年３月期	第39期 (当連結会計年度) 平成27年３月期
売上高（百万円）	146,591	160,589	179,443	183,805
経常利益（百万円）	14,584	17,590	20,865	18,914
当期純利益（百万円）	7,087	9,832	10,684	10,185
１株当たり当期純利益（円）	83.54	118.26	127.70	111.70
総資産（百万円）	176,779	193,664	212,755	230,166
純資産（百万円）	103,994	111,484	131,283	139,675
１株当たり純資産額（円）	1,242.97	1,349.49	1,439.76	1,531.81

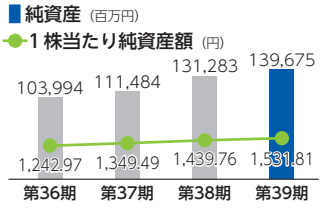
（注）1. １株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数により算出しております。また、１株当たり純資産額は期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数により算出しております。
2. 当社は、平成26年１月１日付で１株につき２株の割合で株式分割を行っております。１株当たり当期純利益及び１株当たり純資産額につきましては、当該株式分割が第36期の期首に行われたと仮定して算定しております。
3. 第37期の売上高、経常利益及び当期純利益は、既存店の増収や新規出店により増加いたしました。
4. 第38期の売上高、経常利益及び当期純利益は、既存店の増収や新規出店により増加いたしました。
5. 第39期（当連結会計年度）の状況につきましては、前記「(1) 事業の経過及び成果」に記載のとおりです。











（10）主要な事業内容（平成27年３月31日現在）

当社グループは、ファッション事業、アニヴェルセル・ブライダル事業、カラオケルーム運営事業、複合カフェ運営事業を主な内容として事業活動を展開しております。

① ファッション事業

㈱AOKIは、主に郊外のロードサイドにチェーンストア方式で紳士服及び婦人服、服飾品並びにファッション商品を販売する小売専門店「ＡＯＫＩ」、20代から40代のメンズ及びレディスをターゲットに、ビジネス＆ビジカジの新たなスタイリングを提案する「ＯＲＩＨＩＣＡ」を展開しております。

② アニヴェルセル・ブライダル事業

アニヴェルセル㈱は、結婚式を通じて感動とうっとりするサービスをご提供する邸宅式結婚式場を展開しております。また、アニヴェルセル表参道は、あらゆる記念日を総合的にプロデュースする施設であり、アニヴェルセルウエディングがその中心となっております。

③ カラオケルーム運営事業

㈱ヴァリックは、南仏にある地上の楽園と呼ばれるコート・ダジュールをテーマに、品のよい歌と語らいのさわやかなくつろぎ空間の提供をコンセプトとして、カラオケルーム（コート・ダジュール）を展開しております。

④ 複合カフェ運営事業

㈱ヴァリックは、リゾートアイランドのバリ島をイメージし、リラックスをテーマに時代にあった癒しの空間を提供する複合カフェ（快活ＣＬＵＢ等）を展開しております。

（11）重要な子会社の状況

会社名	資本金（百万円）	当社の出資比率（%）	主要な事業内容
㈱AOKI	100	100.0	紳士服、婦人服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売
アニヴェルセル㈱	100	100.0	結婚式場の運営
㈱ヴァリック	100	100.0	カラオケルーム、複合カフェ等の娯楽施設の運営

（12）主要な事業所及び店舗（平成27年３月31日現在）

	AOKI	ORIHICA	アニヴェルセル	コート・ダジュール	快活ＣＬＵＢ	合 計
北海道	24	-	-	-	4	28
青森県	4	-	-	-	-	4
岩手県	4	-	-	2	3	9
宮城県	8	4	-	6	5	23
秋田県	3	-	-	1	3	7
山形県	2	-	-	1	4	7
福島県	7	1	-	1	4	13
茨城県	15	4	-	4	10	33
栃木県	11	2	-	1	5	19
群馬県	12	-	-	1	8	21
埼玉県	52	17	1	6	21	97
千葉県	42	14	1	10	21	88
東京都	71	28	4	30	12	145
神奈川県	55	20	2	29	14	120
新潟県	10	2	-	3	7	22
富山県	9	-	-	2	2	13
石川県	8	-	-	5	4	17
福井県	3	-	-	6	-	9
山梨県	6	-	-	2	3	11
長野県	21	-	1	13	6	41
岐阜県	11	2	-	-	7	20
静岡県	22	3	-	8	8	41
愛知県	51	16	1	10	24	102
三重県	11	-	-	2	6	19
滋賀県	5	2	-	2	3	12
京都府	5	1	-	3	7	16
大阪府	32	12	2	8	21	75
兵庫県	11	10	1	6	13	41
奈良県	5	1	-	2	1	9
和歌山県	-	-	-	-	2	2
島根県	-	-	-	-	2	2
岡山県	-	-	-	2	6	8
広島県	5	2	-	-	4	11
山口県	-	-	-	-	2	2
徳島県	-	-	-	-	2	2
香川県	-	-	-	-	3	3
福岡県	19	-	1	3	3	26
長崎県	2	-	-	-	2	4
熊本県	6	-	-	-	5	11
大分県	-	-	-	-	1	1
宮崎県	-	-	-	-	1	1
鹿児島県	5	-	-	-	1	6
合　計	557	141	14	169	260	1,141

（注）快活ＣＬＵＢの神奈川県及び長野県には、「快活フィットネスＣＬＵＢ」がそれぞれ１店舗含まれております。

（13）従業員の状況（平成27年３月31日現在）

① 企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数（名）	前連結会計年度末比増減（名）
ファッション事業	2,228（2,362）	185（ 33）
アニヴェルセル・ブライダル事業	753（ 512）	63（ 7）
カラオケルーム運営事業	261（1,136）	7（ 91）
複合カフェ運営事業	402（1,679）	43（244）
全社（共通）	62（ 41）	△7（ 2）
合計	3,706（5,730）	291（377）

（注）1. 従業員数は、就業員数を記載しております。
2. 上記従業員数の（外書）は、有期契約の従業員（パート社員、アルバイトは１日８時間換算）の当連結会計年度の平均雇用人数です。
3. 全社（共通）として記載されている従業員数は、特定の事業に区分できない管理部門等に所属しております。

② 当社の従業員の状況

従業員数（名）	前事業年度末比増減（名）	平均年齢（歳）	平均勤続年数（年）
62（41）	△7（2）	43.0	15.9

（注）1. 従業員数は、就業員数を記載しております。
2. 上記従業員数の（外書）は、有期契約の従業員（パート社員、アルバイトは１日８時間換算）の年間平均雇用人数です。
3. 従業員は、管理部門等に所属しております。

（14）主要な借入先の状況（平成27年３月31日現在）

借入先	借入残高（百万円）
㈱横浜銀行	10,725
㈱三井住友銀行	8,650
㈱みずほ銀行	7,500
㈱八十二銀行	4,800
㈱りそな銀行	4,000
㈱三菱東京ＵＦＪ銀行	1,000
日本生命保険（相）	1,000

（注）平成27年３月末現在の借入残高が10億円以上の金融機関を記載しております。

（15）その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2 株式の状況 (平成27年３月31日現在)

(1) 発行可能株式総数　133,679,900株

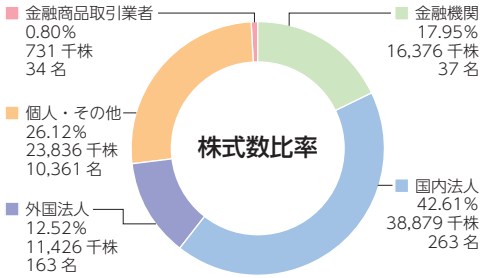
(2) 発行済株式の総数　91,249,504株

(3) 単元株式数　100株

(4) 株主数　10,858名

(5) 大株主（上位10名）

所有者別株式分布状況



株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
㈱アニヴェルセルHOLDINGS	35,115	38.51
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）	4,203	4.61
日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	3,252	3.57
青木拡憲	2,560	2.81
青木寶久	2,560	2.81
青木彰宏	2,560	2.81
青木柾允	2,560	2.81
全国共済農業協同組合連合会	2,380	2.61
AOKIホールディングス取引先持株会	2,113	2.32
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	1,635	1.79

（注）1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）及び日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）の持株数は、すべて信託業務に係るものです。

3 会社役員の状況

（1）取締役及び監査役の状況（平成27年３月31日現在）

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	青　木　拡　憲	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役副会長
代表取締役副会長	青　木　寶　久	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役会長 アニヴェルセル㈱取締役会長
代表取締役社長	青　木　彰　宏	㈱アニヴェルセルHOLDINGS取締役副社長 ㈱AOKI代表取締役会長
取締役副社長	長谷川　八　郎	グループ店舗開発担当
取締役副社長	中　村　憲　侍	グループ経営企画担当
取締役副社長	中　林　佑　烝	㈱ヴァリック代表取締役社長
取締役副社長	田　村　春　生	グループ管理・財務担当
常務取締役	清　水　　彰	㈱AOKI代表取締役社長
常務取締役	中　村　宏　明	アニヴェルセル㈱代表取締役社長
常務取締役	野　口　達　巳	グループ海外戦略・物流担当 ㈱AOKI専務取締役
常務取締役	島　屋　紀　明	グループ戦略担当
常務取締役	栗　田　　宏	グループ人事担当
常務取締役	青　木　柾　允	㈱アニヴェルセルHOLDINGS代表取締役社長 アニヴェルセル㈱取締役副会長
取締役	稲　垣　　稔	
常勤監査役	牧　　倫　匡	
監査役	渡　邉　一　正	渡辺商事㈱代表取締役会長
監査役	栗　林　一　夫	㈲オフィスＫ代表取締役

（注）1. 取締役稲垣稔氏は、会社法第２条第15号に定める社外取締役です。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
2. 監査役渡邉一正及び栗林一夫の両氏は、いずれも会社法第２条第16号に定める社外監査役です。また、監査役渡邉一正氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
3. 平成26年６月27日開催の第38回定時株主総会において、稲垣稔氏は常勤監査役（社外監査役）を辞任により退任され、新たに取締役に選任され、就任いたしました。
4. 平成26年10月28日付で常務取締役（情報システム本部長）青木誠路氏は、辞任により退任いたしました。

（2）取締役及び監査役の報酬等の総額

区分	支給人員（名）	支給額（百万円）
取締役	13	349（うち社外取締役　1名　15）
監査役	4	19（うち社外監査役　3名　9）
合計	17	368（うち社外役員　4名　24）

（注）1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、平成20年６月20日開催の第32回定時株主総会において年額４億50百万円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。
3. 監査役の報酬限度額は、平成20年６月20日開催の第32回定時株主総会において年額60百万円以内と決議いただいております。
4. 上記の支給額には、以下のものも含まれております。
・当事業年度における役員賞与引当金の繰入額
取締役　12名　35百万円（うち社外取締役　1名　2百万円）
監査役　3〃　1〃　（うち社外監査役　2名　0百万円）
・当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額
取締役　11名　87百万円
監査役　1〃　0〃
5. 上記のほかに、第38回定時株主総会の決議に基づき、役員退職慰労金を退任社外監査役１名に30百万円支給しております。

(3) 社外役員に関する事項

取締役

① 他の法人等との兼職状況（他の法人等の業務執行者である場合）及び当社と当該他の法人等との関係
該当事項はありません。

② 他の法人等の社外役員の兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係
該当事項はありません。

③ 当事業年度における主な活動状況
・取締役会への出席状況

区分	氏名	主な活動状況
取締役	稲　垣　　稔	取締役に就任後開催された取締役会には15回中12回出席しました。その他重要な会議にも適宜出席し、公認会計士としての専門的な見地から、経営の監視と健全な経営のための適切な発言を行っております。

監査役

① 他の法人等との兼職状況（他の法人等の業務執行者である場合）及び当社と当該他の法人等との関係
監査役渡邉一正氏は、渡辺商事㈱の代表取締役を兼務しております。なお、当社と渡辺商事㈱との間には特別の関係はありません。
監査役栗林一夫氏は、㈲オフィスＫの代表取締役を兼務しております。なお、当社と㈲オフィスＫとは調理や食材、衛生管理に関するアドバイスを受けるなどの取引があります。

② 他の法人等の社外役員の兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係
該当事項はありません。

③ 当事業年度における主な活動状況
・取締役会及び監査役会への出席状況

区分	氏名	主な活動状況
監査役	渡　邉　一　正	当事業年度に開催された取締役会には20回中12回、監査役会には11回中11回出席し、議案の審議に必要な質問と豊富な経験に基づく適切な発言を行っております。
監査役	栗　林　一　夫	当事業年度に開催された取締役会には20回中12回、監査役会には11回中11回出席し、議案の審議に必要な質問と豊富な経験に基づく適切な発言を行っております。

4 会計監査人の状況

（1）会計監査人の名称

あらた監査法人

（2）報酬等の額

区分	報酬等の額（百万円）
当社が支払うべき報酬等の額	76
当社及び当社子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	76

（注）当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当社が支払うべき報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

（3）会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

取締役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査役会の同意を得たうえで、又は、下記に掲げる監査役会の請求に基づいて、会計監査人の解任又は不再任を株主総会の会議の目的とすることといたします。

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、取締役会に、会計監査人の解任又は不再任を株主総会の会議の目的とすることを請求します。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第１項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

5 業務の適正を確保するための体制

業務の適正を確保するための体制に関する決定内容の概要は以下のとおりです。

(1) 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

① 当社グループの全役員・全従業員は、「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」の３つの経営理念に基づき、経営・業務活動を推進することを基本とする。

② 取締役会を毎月１回開催することに加え必要があるときは随時開催し、重要な業務執行に関する意思決定を行うとともに、取締役の職務執行を監督する。

③ 執行部門から独立した監査室により、業務運営の適正・有効性を検証する。

④「内部通報制度」の活用により、問題の早期発見と、適時適切な対応を行う。

⑤ 弁護士を含めた法務相談会や勉強会を定期的に開催し、コンプライアンスの周知徹底を図る。

⑥ 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を遮断するとともに、これら反社会的勢力に対しては、関係機関と緊密に連携し、事由の如何を問わず、グループとして組織的に毅然とした姿勢をもって対応する。

(2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報は、「文書管理規程」や「取締役会規程」等の社内規程に基づき適切に保存・管理する。

(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

① リスク管理規程に基づき、リスクマネジメント委員会を設置し、組織目標の達成を阻害する要因として想定されるリスクの分析と対応策について検討する。

② 自然災害などの緊急事態に備え、個別のマニュアルを作成し、訓練や緊急時の対応の指針とする。

(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

① 定例取締役会を月１回、その他臨時取締役会を適宜開催するとともに、常勤の取締役と子会社の社長から構成される常務会を月１回、グループ報告会を毎週開催し、子会社を含めた経営課題の検討や報告を行う。

② 取締役会において取締役の業務分担を決定し、取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保する。

③ 執行役員制度を導入し、経営の意思決定の迅速化を図る。

(5) 当社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

①「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」の３つの経営理念は、グループ会社全てに適用する最も基本となる行動指針と位置づける。

② グループ横断的な業務を担当する取締役は、各社の業務について充分にその実態を把握し適切な指示を与えるとともに、適宜社長や取締役会へ報告する。

③「常務会規程」に基づき、各子会社の取締役会における重要決定事項は、毎月１回開催する常務会で報告を行う。

④ 当社監査室は、グループ全体の内部監査を実施し、業務の適正の確保に対する検証を行う。

(6) 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

監査役は、経営管理室の従業員に、監査業務に必要な事項を命令することができるものとする。

(7) 前号の使用人の取締役会からの独立性に関する事項

前号の従業員は、監査役からの監査業務に必要な命令に関し、取締役等の指揮命令を受けないものとする。

(8) 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、その他の監査役への報告に関する体制

① 監査役は、取締役会その他の重要な社内会議に出席し、あるいは会議議事録やその他の資料を閲覧して、情報を共有化することができる。

② 監査室は、監査役へ内部監査の結果等の適切な報告を行い、緊密な連携を保つものとする。

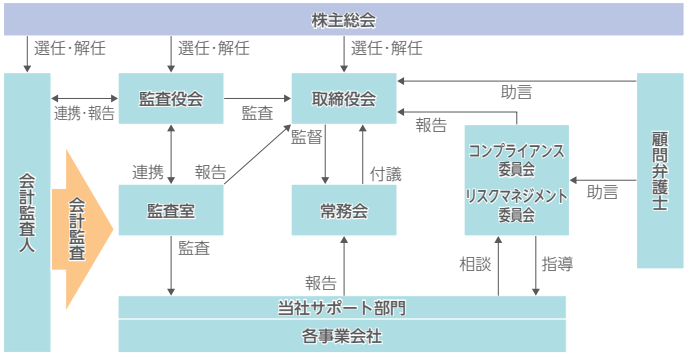
③ 監査役は、必要に応じ、当社及び子会社の取締役・執行役員・従業員に対し、業務の報告を求めることができる。

(9) その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

① 代表取締役と監査役との定期的な意見交換や、監査役と子会社監査役及び内部監査部門との緊密な連携により監査役監査の実効性を高める。

② 監査役は、会計監査人と監査実施状況並びに当社及び子会社の監査に関する情報・意見交換等を行うことにより緊密な連携を図り、効率的な監査役監査を実施する。

（コーポレート・ガバナンス図）



6 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、利益配分につきましては、経営の重点政策の一つとして認識しており、将来の事業展開、財務体質の強化、配当性向等を勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

また、中間配当と期末配当の年２回の剰余金の配当を行うことを基本とし、その他、基準日を定めて剰余金の配当をすることができることとしており、また、剰余金の配当等を取締役会決議により行う事ができるよう定款を変更しております。

内部留保につきましては、今後の継続的な成長のため各事業の設備投資と顧客ニーズに応える商品開発や情報システム投資のための資金需要に備えてまいります。

自己株式の取得、消却につきましては、投資計画や資金の状況、株価等を勘案し、機動的に行う方針としております。

当事業年度の期末配当金につきましては、平成27年３月期の業績及び上記の基本方針を踏まえ、日頃の株主の皆様のご支援にお応えするため、平成27年５月８日開催の取締役会決議により、１株当たり18円とさせていただきました。この結果、すでにお支払いしております中間配当金18円と合わせて年間配当金は36円となります。また、配当金の支払開始日（効力発生日）は平成27年６月８日（月曜日）からとさせていただきました。

今後の配当につきましては、安定配当を基本に当面の配当性向の目標を30％にすることとしており、平成28年３月期の配当金につきましては、年間４円増額し中間配当金20円、期末配当金20円とし、年間配当金は40円を予定しております。

また、平成27年５月８日開催の取締役会において、自己株式120万株(上限)の取得及び取得株数の２分の１の消却を行うことを決定いたしました。

連結貸借対照表 (平成27年３月31日現在)

(単位：百万円)

科目	第39期 平成27年３月31日現在	(ご参考) 第38期 平成26年３月31日現在
(資産の部)		
流動資産	**73,769**	**66,003**
現金及び預金	29,226	22,619
売掛金	8,991	10,127
たな卸資産	26,476	22,751
繰延税金資産	2,008	2,097
その他	7,104	8,428
貸倒引当金	△37	△20
固定資産	**156,396**	**146,752**
有形固定資産	**108,308**	**101,032**
建物及び構築物	58,959	56,929
機械、運搬具及び工具器具備品	7,561	7,400
土地	37,095	31,394
リース資産	4,086	4,476
建設仮勘定	605	832
無形固定資産	**6,550**	**5,675**
投資その他の資産	**41,538**	**40,043**
投資有価証券	6,172	4,975
差入保証金	8,333	8,588
敷金	20,176	19,364
繰延税金資産	5,027	5,272
その他	1,867	1,883
貸倒引当金	△40	△40
資産合計	**230,166**	**212,755**

科目	第39期 平成27年３月31日現在	(ご参考) 第38期 平成26年３月31日現在
(負債の部)		
流動負債	**43,397**	**46,678**
買掛金	19,867	20,224
1年内返済予定の長期借入金	4,450	8,086
リース債務	1,578	1,716
未払金	6,748	5,022
未払法人税等	3,789	4,582
賞与引当金	1,735	1,842
役員賞与引当金	105	167
その他	5,123	5,036
固定負債	**47,093**	**34,793**
長期借入金	35,325	22,275
リース債務	2,846	3,049
役員退職慰労引当金	1,838	1,764
ポイント引当金	958	767
退職給付に係る負債	382	1,534
資産除去債務	4,773	4,400
負ののれん	54	82
その他	914	918
負債合計	**90,491**	**81,472**
(純資産の部)		
株主資本	**138,654**	**131,026**
資本金	**23,282**	**23,282**
資本剰余金	**28,757**	**28,757**
利益剰余金	**86,658**	**79,029**
自己株式	**△45**	**△43**
その他の包括利益累計額	**1,021**	**257**
その他有価証券評価差額金	**1,229**	**549**
退職給付に係る調整累計額	**△208**	**△292**
純資産合計	**139,675**	**131,283**
負債純資産合計	**230,166**	**212,755**

連結損益計算書 (平成26年４月１日から平成27年３月31日まで)

(単位：百万円)

科目	第39期 平成26年 4 月 1 日から 平成27年 3 月31日まで	(ご参考) 第38期 平成25年 4 月 1 日から 平成26年 3 月31日まで
売上高	**183,805**	**179,443**
売上原価	**97,019**	**91,651**
売上総利益	**86,785**	**87,792**
販売費及び一般管理費	**67,757**	**67,401**
営業利益	**19,028**	**20,390**
営業外収益	**1,173**	**1,774**
受取利息	107	103
受取配当金	138	104
不動産賃貸料	616	654
負ののれん償却額	42	625
その他	270	286
営業外費用	**1,287**	**1,299**
支払利息	316	315
不動産賃貸費用	527	622
その他	444	361
経常利益	**18,914**	**20,865**
特別利益	**－**	**5**
新株予約権戻入益	－	5
特別損失	**1,942**	**2,449**
減損損失	1,942	2,448
その他	－	0
税金等調整前当期純利益	**16,972**	**18,422**
法人税、住民税及び事業税	7,209	7,950
法人税等調整額	△422	△212
法人税等合計	6,787	7,738
少数株主損益調整前当期純利益	**10,185**	**10,684**
当期純利益	**10,185**	**10,684**

連結株主資本等変動計算書 (平成26年４月１日から平成27年３月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成26年４月１日　期首残高	23,282	28,757	79,029	△43	131,026
会計方針の変更による累積的影響額			726		726
会計方針の変更を反映した期首残高	23,282	28,757	79,756	△43	131,753
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△3,282		△3,282
当期純利益			10,185		10,185
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	－	0	6,902	△1	6,900
平成27年３月31日　期末残高	23,282	28,757	86,658	△45	138,654

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
平成26年４月１日　期首残高	549	△292	257	131,283
会計方針の変更による累積的影響額				726
会計方針の変更を反映した期首残高	549	△292	257	132,010
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△3,282
当期純利益				10,185
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	679	84	763	763
連結会計年度中の変動額合計	679	84	763	7,664
平成27年３月31日　期末残高	1,229	△208	1,021	139,675

貸借対照表 (平成27年３月31日現在)

(単位：百万円)

科目	第39期 平成27年３月31日現在	(ご参考) 第38期 平成26年３月31日現在
(資産の部)		
流動資産	**28,823**	**21,542**
現金及び預金	18,941	12,918
前渡金	－	1,156
前払費用	134	135
繰延税金資産	62	116
未収入金	1,229	1,257
関係会社短期貸付金	3,040	－
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	5,400	5,940
その他	15	18
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	**129,422**	**123,491**
有形固定資産	**32,060**	**26,434**
建物	5,098	5,362
構築物	57	50
車両運搬具	1	3
工具、器具及び備品	3,870	3,824
土地	22,927	17,148
リース資産	－	4
建設仮勘定	103	40
無形固定資産	**5,011**	**4,335**
借地権	3,205	3,205
商標権	－	0
ソフトウエア	524	779
電話加入権	83	83
ソフトウエア仮勘定	1,198	268
投資その他の資産	**92,350**	**92,720**
投資有価証券	5,799	4,609
関係会社株式	64,650	64,650
出資金	101	101
関係会社長期貸付金	19,000	20,110
長期前払費用	138	118
差入保証金	322	401
敷金	998	1,044
繰延税金資産	881	1,238
その他	457	444
資産合計	**158,246**	**145,033**

科目	第39期 平成27年３月31日現在	(ご参考) 第38期 平成26年３月31日現在
(負債の部)		
流動負債	**5,556**	**8,853**
1年内返済予定の長期借入金	4,450	8,050
リース債務	－	5
未払金	500	268
未払費用	58	71
未払法人税等	233	65
預り金	13	13
前受収益	170	176
賞与引当金	51	109
役員賞与引当金	36	81
その他	41	10
固定負債	**37,709**	**24,696**
長期借入金	35,325	22,275
退職給付引当金	22	41
役員退職慰労引当金	1,553	1,495
資産除去債務	23	26
長期預り敷金保証金	784	813
その他	0	45
負債合計	**43,266**	**33,550**
(純資産の部)		
株主資本	**113,763**	**110,940**
資本金	**23,282**	**23,282**
資本剰余金	**32,271**	**32,271**
資本準備金	26,100	26,100
その他資本剰余金	6,171	6,171
利益剰余金	**58,254**	**55,429**
利益準備金	2,234	2,234
その他利益剰余金	56,020	53,195
固定資産圧縮積立金	57	54
別途積立金	36,908	36,908
繰越利益剰余金	19,054	16,232
自己株式	**△45**	**△43**
評価・換算差額等	**1,215**	**542**
その他有価証券評価差額金	**1,215**	**542**
純資産合計	**114,979**	**111,483**
負債純資産合計	**158,246**	**145,033**

損益計算書 (平成26年４月１日から平成27年３月31日まで)

(単位：百万円)

科目	第39期 平成26年４月１日から 平成27年３月31日まで	(ご参考) 第38期 平成25年４月１日から 平成26年３月31日まで
営業収益	**3,578**	**3,291**
経営管理料	**3,578**	**3,291**
売上高	**－**	**12**
売上原価	**－**	**24**
売上総利益	**3,578**	**3,278**
販売費及び一般管理費	**3,942**	**3,752**
営業損失	**363**	**473**
営業外収益	**8,086**	**7,215**
受取利息	207	174
受取配当金	5,926	5,062
不動産賃貸料	1,902	1,951
雑収入	49	26
営業外費用	**1,261**	**1,371**
支払利息	255	251
不動産賃貸費用	968	1,040
雑損失	37	80
経常利益	**6,460**	**5,369**
特別利益	**－**	**5**
新株予約権戻入益	－	5
特別損失	**26**	**1,652**
固定資産売却損	－	1,421
減損損失	26	231
税引前当期純利益	**6,433**	**3,723**
法人税、住民税及び事業税	227	34
法人税等調整額	119	△287
法人税等合計	347	△253
当期純利益	**6,086**	**3,977**

株主資本等変動計算書 (平成26年４月１日から平成27年３月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本										
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
						固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成26年４月１日　期首残高	23,282	26,100	6,171	32,271	2,234	54	36,908	16,232	55,429	△43	110,940
会計方針の変更による累積的影響額								20	20		20
会計方針の変更を反映した期首残高	23,282	26,100	6,171	32,271	2,234	54	36,908	16,253	55,450	△43	110,961
事業年度中の変動額											
固定資産圧縮積立金の積立						2		△2	－		－
剰余金の配当								△3,282	△3,282		△3,282
当期純利益								6,086	6,086		6,086
自己株式の取得										△1	△1
自己株式の処分			0	0						0	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）											
事業年度中の変動額合計	－	－	0	0	－	2	－	2,800	2,803	△1	2,801
平成27年３月31日　期末残高	23,282	26,100	6,171	32,271	2,234	57	36,908	19,054	58,254	△45	113,763

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成26年４月１日　期首残高	542	542	111,483
会計方針の変更による累積的影響額			20
会計方針の変更を反映した期首残高	542	542	111,504
事業年度中の変動額			
固定資産圧縮積立金の積立			－
剰余金の配当			△3,282
当期純利益			6,086
自己株式の取得			△1
自己株式の処分			0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	672	672	672
事業年度中の変動額合計	672	672	3,474
平成27年３月31日　期末残高	1,215	1,215	114,979

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

独立監査人の監査報告書

平成27年５月22日

株式会社AOKIホールディングス
取 締 役 会 御 中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員 公認会計士 大 塚 啓 一 ㊞

指定社員 業務執行社員 公認会計士 加 藤 達 也 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第４項の規定に基づき、株式会社AOKIホールディングスの平成26年４月１日から平成27年３月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社AOKIホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成27年５月８日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を実施することを決議している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

会計監査人の監査報告

独立監査人の監査報告書

平成27年５月22日

株式会社AOKIホールディングス
取 締 役 会 御 中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員 公認会計士 大 塚 啓 一 ㊞

指定社員 業務執行社員 公認会計士 加 藤 達 也 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第２項第１号の規定に基づき、株式会社AOKIホールディングスの平成26年４月１日から平成27年３月31日までの第39期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成27年５月８日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を実施することを決議している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査役会の監査報告

平成27年５月28日

監　査　報　告　書

株式会社AOKIホールディングス監査役会

常勤監査役　牧　　倫　匡 ㊞

社外監査役　渡　邉　一　正 ㊞

社外監査役　栗　林　一　夫 ㊞

当監査役会は、平成26年４月１日から平成27年３月31日までの第39期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第１項及び第３項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）の状況を監視及び検証いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

二　取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

三　内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人あらた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人あらた監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以　上

以　上

〈 メ モ 欄 〉

AOKI Holdings

AOKIグループ REPORT

平成27年3月期 株主通信

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

株式会社AOKIホールディングス

証券コード：8214



Fashion



Bridal



Entertainment





はじめに

株主の皆様には、平素よりAOKIグループに対し格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

当期は、ファッション事業、エンターテイメント事業における92店舗の新規出店に加え、各事業で環境の変化に対応した新商品・サービスの提供や販促施策等の実施に注力いたしました。

その結果、新規出店効果及び平成26年2月に開業した「アニヴェルセル みなとみらい横浜」が通年寄与したこと等により増収になったものの、ファッション事業における消費税率引き上げの影響等により減益となりました。

今後の成長に向けた課題

次期におきましては、シェア拡大のための新規出店の継続と、事業基盤の強化のため、既存店の活性化に積極的に取り組むとともに、機動的、効率的な経営を推進し収益力の向上を図ることで、増収増益を目指します。

ファッション事業は、商品力の強化、スタイリスト制度の更なる深耕による営業力の磨き上げと時代の変化に対応した既存店の活性化を積極的に行います。出店は、AOKI、ORIHICA合わせて厳選した25店舗を実施し、市場シェアの拡大を目指してまいります。

アニヴェルセル・ブライダル事業は、ブランド力の向上と更なる営業効率の改善に努めます。

エンターテイメント事業は、カラオケ、複合カフェ合わせて40店舗の新規出店の継続と業態の進化に努めます。



代表取締役社長　青木 彰宏

株主の皆様からのご支援とご期待にお応えして

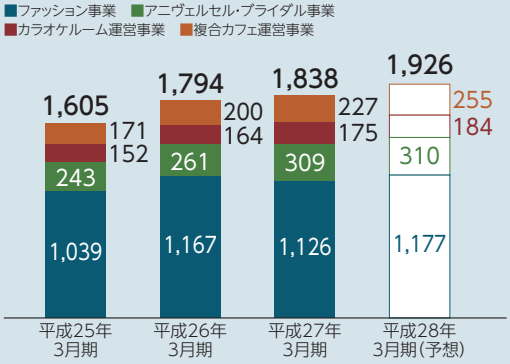
当期末の利益配当は18円(年間36円)とさせていただくとともに、グループ各店舗でご利用いただける「株主御優待券」を発行しております。

次期の配当につきましては、1株当たり年間4円増額し中間配当金を20円、期末配当金を20円とし年間配当金を40円と予想しております。

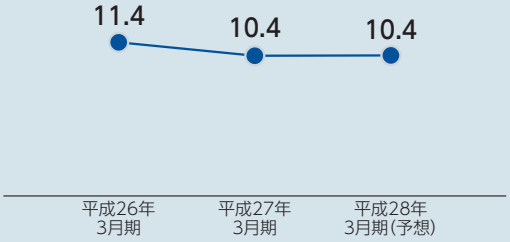
今後も各事業が、グループとしてのシナジーを高めながら質の高い安定成長を図り、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご指導ご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

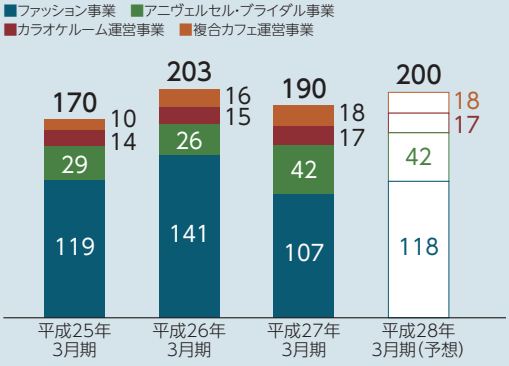
連結売上高 (単位:億円)



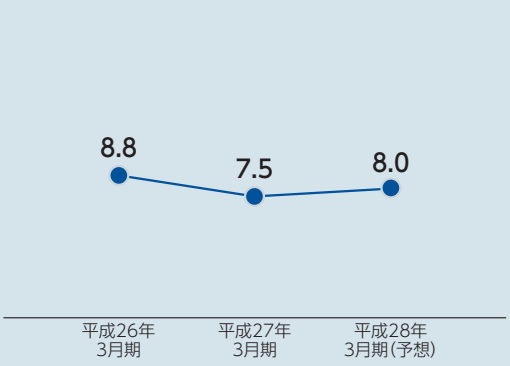
営業利益率 (単位:%)



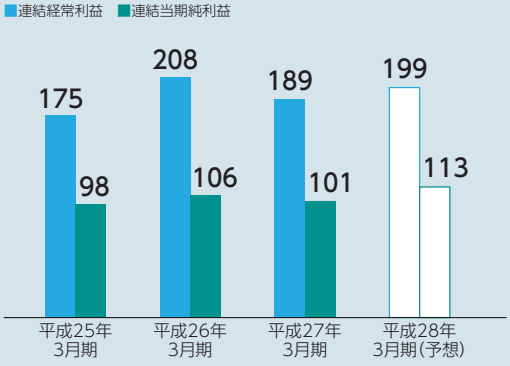
連結営業利益 (単位:億円)



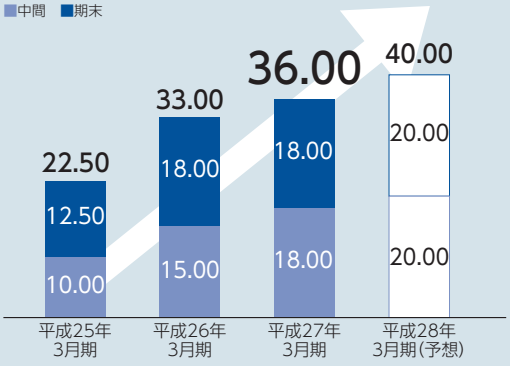
株主資本利益率(ROE) (単位:%)



連結経常利益／連結当期純利益 (単位:億円)



1株当たり年間配当金※ (単位:円)



※平成26年3月期の中間配当以前の配当金については、平成26年1月1日付で1株を2株の割合で分割した株式分割を考慮して遡及修正した額を記載しております。

ファッション事業　AOKI

「ナチュラルフィットスーツ」発売

ノーパッド又は、薄い肩パッド、軽量芯地を用いて“新感覚”の軽い着心地を実現した「ナチュラルフィットスーツ」をAOKI全店で発売。当商品は、信州大学繊維学部・先進繊維工学課程との産学協同開発商品です。今後も商品を進化させながら、品揃えの充実を図ってまいります。



ナチュラルフィットスーツ

レディスアイテムを強化

ブラックフォーマルは、品揃えの充実と「品・質・美」を軸とした単独TV-CMを放映し、訴求を強化した結果、幅広い年代層にご好評をいただきました。また、スーツでは、30代以上のキャリア女性をメインターゲットとしたライン「ブラックネーム」の品揃えを強化しました。



レディス商品

フレッシャーズに向けた、プロモーションを強化

「フレッシャーズ応援 スーツフェア」の一環として、TV-CMを放映しました。新TV-CMには、人気男性タレントや女性ファッション誌『CanCam』専属モデルの山本美月さんと坂田梨香子さんを起用。さらに、スマートフォンアプリでのキャンペーンを実施し、フレッシャーズに向けて、AOKIブランドの認知度向上を図りました。





フレッシャーズTV-CM

店舗のご案内

株式会社AOKI



AOKI　http://www.aoki-style.com/shop/

Fashion

AOKI甲府昭和総本店を建て替え、リニューアルオープン

「甲府昭和総本店」を建て替え、オープンしました。山梨県内最大の売り場面積とともに、地域のお客さまのニーズに合わせた品揃えを強化。店内は、“どの年代の方に対してもわかりやすい売り場”をコンセプトに、安心してお買い物ができる環境づくりに注力しました。



甲府昭和総本店 メインディスプレイ

ファッション事業　ORIHICA

商品フェア「ORC QUALITY STANDARD」シリーズ/「Admiral」とのコラボ商品を発売

春夏に引き続き、品質・バリエーションを訴求する商品軸のフェア「ORC QUALITY STANDARD」を実施。シーズンに合わせ、ジャケット、ニット、コートを展開しました。また、英国発のトータルスポーツブランド「Admiral」とコラボしたオリジナルスプリングコートを発売しました。



ORC QUALITY STANDARD COAT 売り場

新規出店の継続とリニューアルの実施

各地域のドミナント化を深耕するため、新規出店を継続。特に埼玉県では、「ベニバナウォーク桶川店」をはじめとし、3店舗を新規出店しました。また、リニューアルした「アトレ川崎店」は売り場面積を2倍に拡大し、レディスコーナーの充実を図りました。



アトレ川崎店

店舗のご案内

株式会社AOKI



ORIHICA　http://www.orihica.com/shoplist/

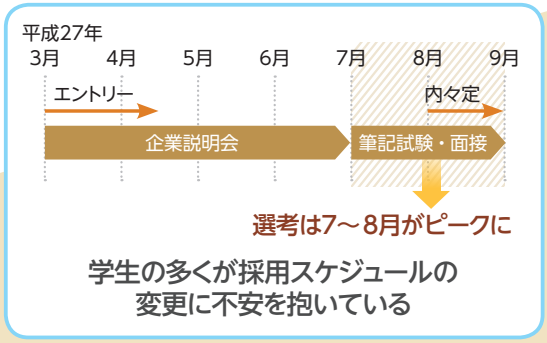
ファッション事業　AOKI

AOKI&マイナビスチューデントが新たな就活スタイルを提案

● 就活 新スタイル

平成28年卒業予定の学生より、採用活動の解禁時期が変更となり、大手企業を中心に春から夏にかけて就職活動がピークを迎えます。こうした状況を受け、AOKIは、学生の就職活動やライフスタイルをサポートしている『マイナビスチューデント』と協力し、クールビズを含む“就活スタイル”を新たに提案。就活生はもちろん、採用担当者の双方に平成28年卒の採用スケジュールに合わせた最適なスタイリングを提唱しています。

✔ 平成28年卒 就職活動スケジュール



学生の多くが採用スケジュールの変更に不安を抱いている

✔ 就活クールビズスタイルの基準

1. 面接時は原則上着着用。上着は必ず持参する。
2. ネクタイは必ず持参。バッグに入れるなど、1本は必ず常備する。
3. カジュアルスタイルはNG。

※必ず、事前に各企業が提示する服装の基準を確認する。



Fashion

AOKI & マイナビ スチューデント



就活 cool biz style!

標準style

就活生に役立つコンテンツを展開する「AOKI就活magazine supervised by『マイナビスチューデント』」を開設。



AOKIカスタマーズ・スタイリスト



就活ステーション



AOKI全店に「就活コーナー」を設置。AOKIカスタマーズ・スタイリストが就活スタイリングをサポートします。また、学生の来店が多いと想定される大都市圏の主要10店舗に、「就活ステーション」を設置。他店舗に先駆けて、クールビズ商品など季節に合わせた商品をラインアップしました。

アニヴェルセル・ブライダル事業

花嫁の声から生まれた、新感覚ウエディングプラン 1日1組限定「ジ・エレメンツ・オブ・表参道」が誕生

「みんなを幸せにする、記念日のために」をコンセプトに、“新生アニヴェルセル記念プロジェクト「NEW BIRTH」”により生まれ変わったアニヴェルセル 表参道。その集大成として、“1組毎のオリジナル空間を叶える”新感覚のウエディングプランが誕生しました。お好みのスタイルをベースに、256通り以上のオリジナルアイテムを組み合わせ、従来よりも上質な空間をトータルでコーディネートできる“新感覚”のウエディングプランです。都心の夜景が一望できる最上階のテラス付会場を含む2フロアを貸し切れる贅沢な1日を提供します。



「ジ・エレメンツ・オブ・表参道」イメージ

300通り以上にアレンジ自在な、オリジナル「カスタムメイド ドレス」販売開始

「私らしいドレスを」といったご新婦様のニーズに応える、アニヴェルセルのオリジナルウエディングドレスの販売を全14店舗にて開始いたしました。2型のシンプルなドレスをベースに、素材やデザインが異なるオーバースカート、ベルト、リボン等のアイテムを自由に組み合わせることが可能です。300通り以上アレンジができる為、自分だけのドレスが〝賢く・可愛く・簡単〟に完成します。1着のドレスで、挙式やパーティーなど、様々なシーンに応じてスタイルの変化を楽しんでいただける商品を提供します。



「カスタムメイド ドレス」イメージ

店舗のご案内

アニヴェルセル株式会社



アニヴェルセル http://www.anniversaire.co.jp/

Bridal

「レストランKinenbi」
思い出の式場で特別フルコース料理を提供

アニヴェルセルで結婚式を挙げられた方を対象に、思い出の式場で食事を楽しめるサービス、「レストランKinenbi」をスタートしました。これまで、結婚式を挙げられた方から「また式場に遊びに行きたい」、「もう一度あの美味しい料理が食べたい」、「遊びに行きたくてもきっかけがない」というお声を多くいただいていました。そのニーズにお応えし、思い出の場所である式場で、オリジナルのフルコース料理をご提供するアフターウエディングサービスを全国の店舗で実施。〝いつでも帰ってこられる場所〟として、お子様連れや親御様とご一緒でも気軽に足を運んでいただくことができます。



Kinenbi
RESTAURANT







カラオケルーム運営事業　コート・ダジュール

コラボキャンペーンが好調

コート・ダジュールのお客様限定でプレミアムLIVEが当たるキャンペーンや、冬休みに合わせた「みんなで遊ぼう!ポケモンキャンペーン」など、タイアップキャンペーンを開催。ご好評をいただき、集客や再来店につながりました。



タイアップキャンペーン

忘新年会や歓送迎会シーズンに向けたパーティーコースをご用意

シーズンごとに新しくパーティーコースをご用意しました。忘新年会コースでは贅沢素材を使用した「プレミアムコース」やママ会にピッタリの「ファミリーコース」など、用途や目的に沿ったコース内容をご提供。カラオケ店ならではの幅広い客層に対応しています。


プレミアムコース


ファミリーコース

「コート・ダジュール甲府昭和店」をオープン

山梨県内の「AOKI甲府昭和総本店」2階に「コート・ダジュール甲府昭和店」をオープンしました。同店では、人気のコンセプトルームを8種、最新オンラインダーツ2機種を導入。最大80名収容可能なパーティールーム、さらにフリー Wi-Fiも完備しています。


パーティールーム

店舗のご案内

株式会社ヴァリック



コート・ダジュール http://www.cotedazur.jp/branch/

株主御優待券について

毎年9月30日及び3月31日現在の株主名簿に記録された株主様に対し、右記の基準により当社グループの各店舗でご利用いただける株主御優待券を発行いたします。

※アニヴェルセル表参道(ウエディングを除きます)は10%割引とさせていただきます。 ※AOKI、ORIHICAは、他の割引券・割引特典と併用いただけます。

Entertainment

複合カフェ運営事業　快活CLUB

九州出店強化と女性専用エリアの拡大

大分県初出店となる「別府店」や熊本県の繁華街へ「熊本下通店」をオープン。九州への出店を継続し、ドミナント化を推進しました。

また、女性専用エリア導入店舗を6店舗オープン。都心の駅前や繁華街立地の店舗への導入を進めるなど、認知度向上を目指します。



女性専用エリア ～Villa me time～

ラーメンフェア、トルコライスフェア開催

初の「ラーメンフェア」、恒例の「トルコライスフェア」を開催しました。「ラーメンフェア」では、秋冬のグランドメニューでも人気のあるラーメンに、冬季限定で人気味4種を追加し、寒い冬にぴったりのメニューをご提供しました。「トルコライスフェア」は平成21年よりスタートし、今年で7回目となります。既存メニューのトルコライスに加え、2種の期間限定メニューをご用意しました。



担々麺



よくばりトルコライス

店舗のご案内

株式会社ヴァリック



快活CLUB　http://www.kaikatsu.jp/shop

AOKI ／ ORIHICA ／ アニヴェルセル表参道	
100株以上1,000株未満	20%割引券 5枚
1,000株以上	20%割引券 10枚

アニヴェルセル	
100株以上	披露宴 10万円割引券 1枚

コート・ダジュール ／ 快活CLUB	
100株以上1,000株未満	総額20%割引券 10枚
1,000株以上	総額20%割引券 30枚

株主総会会場ご案内図

会 場 東京都千代田区紀尾井町4番1号 ☎03-3265-1111(代)

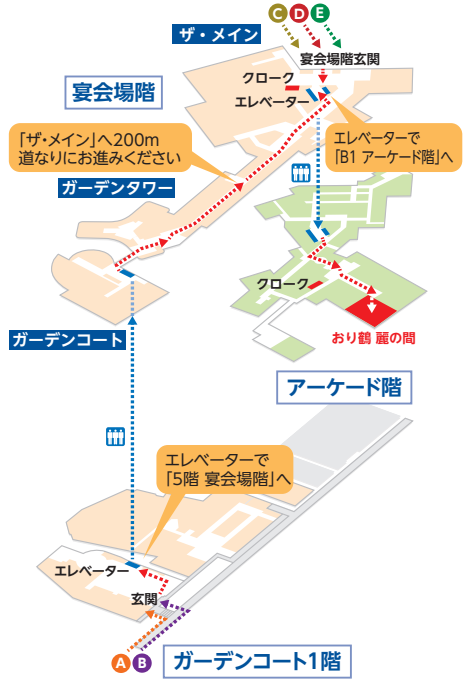
ホテルニューオータニ　ザ・メイン
アーケード階「おり鶴 麗の間」



ホテルニューオータニ　ザ・メイン

会場(アーケード階)までの経路

ザ・メイン「宴会場階／フロント」からお越しの方は、宴会場階玄関から入り、エレベーターで「アーケード階」へお下がりください。



ガーデンコート1階からお越しの方は、エレベーターで5階「宴会場階」へお上がりいただいた後、ザ・メインへお進みいただき、その後エレベーターで「アーケード階」へお下がりください。

交通のご案内

A	銀座線・丸ノ内線	赤坂見附駅（赤坂地下歩道 D 紀尾井町方面口）より徒歩3分	徒歩経路
B	半蔵門線	永田町駅（7番口）より徒歩3分	徒歩経路
C	有楽町線	麹町駅（麹町口）より徒歩6分	徒歩経路
D	丸ノ内線・南北線	四ツ谷駅（赤坂口）より徒歩8分	徒歩経路
JR E	JR 中央線・総武線	四ツ谷駅（麹町口）より徒歩8分	徒歩経路

◎ 当日は、会場周辺道路及び駐車場の混雑が予想されますので、お車でのご来場はご遠慮願います。

株式会社AOKIホールディングス

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。